



高島市立マキノ南小学校 学校だより

令和6年度 第 6 号
令和6年9月20日 (金)

児童数 56 名



教育目標

『笑顔あふれ つながり やり遂げる 南小の子ども』

文責 尾中一彦

自然について考える9月(美しさ・怖さ)

「50-50を達成しました！」 これはメジャーリーグの大谷選手の情報ではありません。地図の上で高島市と接する京都市の話題です。今年の酷暑日と熱帯夜の日数がともに50日を超え、過去最高となったことを報道しているのです。9月になっても暑さの話題ばかりが続いていましたが、ようやく秋らしい日も見られようとしています。一年間を四季に平等に分配すれば、3か月ずつなのですが、明らかに夏がそれ以上の期間を占めているように感じてしまいます。

脅威なのは暑さだけではなく、ゲリラ豪雨で冠水した道路をタイヤを半分以上水面下にしながら走る自動車の映像を何度も目にしました。ずいぶん時間がたったようにも感じますが、南海トラフ地震の恐怖に怯え、防災用品が品薄になったのも今年の夏でした。

私たち人間は、自然には勝てません。自然のなかで生かしてもらっているのです。しかし、その自然を美しく保たせる力を持っているのも私たち人間です。海津の桜を美しく咲かせているのは、先人たちの努力があったからです。メタセコイアをめあてに高島市に訪れる人も年々増えているようです。そして、南小にも美しい自然に貢献する児童がいることは、1学期にも紹介しました。このたび、フラワーブラボーコンクールにおいて優秀賞をいただき、高島市の代表として県の審査に挑みます。4月に赴任した時に、職員室で最初に目に飛び込んできた印象深い写真を裏面のスペースに入れました。今年の結果にも期待してしまいます。

パリの感動から『わたSHIGA輝く』イベントへ

今年の夏には、パリオリンピックが開催され、世界中が盛り上がりました。続いて開催されたパラリンピックでも選手たちが持てる力を発揮して競技する姿に大きな感動を得ました。予定よりも1年遅れで無観客の措置もあった東京オリンピックにはなかった、競技する人とそれを応援する人との一体感が画面からも伝わってきました。

そして、滋賀県では2025年の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた準備が着々と進んでいます。すでにリハーサル大会が始まっており、高島市においても9月には銃剣道とソフトボールが開催され、10月以降には、高等学校野球(軟式)とウエイトリフティングが開催予定となっています。(ウエイトリフティングは南小の6年生が観戦させていただく予定です)

なお、来年の本大会では、県内の各市町に炬火台が設置されることになっています。その炬火台を彩る飾りづくりを行いました。9月5日(木)に信楽の滋賀県立陶芸の森から地元の陶芸家の方にお越しいただき、指導をうけながら粘土による制作を行いました。各自が2つずつ制作し、信楽に持ち帰ってくださいました。時間をかけて自然乾燥させた後、窯で焼かれ、一つは炬火台に飾られ、もう一つは個人にプレゼントされる予定です。(1月ごろに届けられる予定です)この制作の前には、大会のマスコットキャラクターである「キャッフィー」と「チャッフィー」が応援に駆けつけてくれ、交流するひとときをいただきました。この様子は高島市のホームページでも紹介されています。

(下の二次元コードからもご覧になることができます)



子どもにつけたい力 ～読み解き、論理的に表現する～ 全国学力・学習状況調査から

4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について校内で分析を進め、調査を受けた6年生には10月に個人票を配付する予定ですが、この結果から本校で明らかになった傾向についてお知らせします。ただし、この調査は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。調査の正誤だけに惑わされずに、傾向を知ること、対策を考えることが重要だと考えています。調査対象は6年生のみですが、学校全体の傾向を表している面もある(昨年度とは異なる面があるのも事実ですが)と考え、学校だよりにてお知らせします。

国語科では、言葉の特徴や使い方や情報の扱い方に関する事項において正答率が高いものの、「日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つ」ことに気づく問題の正答率が低い傾向にありました。また、「話す」「聞く」領域では、問題のなかでモデルとなる人のメモの活用方法や工夫した話し方・聞き方についての理解は高い傾向にあります。「書く」領域においては、材料を生かして分類したり、関連づけたりする方法や工夫についての理解度は高いですが、短い言葉での回答に比べて長い文章で記述して回答する問題に弱さが見られることから、自分の言葉を文章でまとめて表現したり、決められた条件に従って書いたりする力には課題があると言えます。

算数科では、どの領域においても全国平均を上回る理解度を示しています。とくに「図形」「データの活用」の領域において優れています。日常に起こりそうな場面における問いには、高い正答率を示しており、生活の中で数学的な考え方をを用いることができます。設定された場面で「なぜそうなるのか」を具体的に記述する問題は正答率が高いものの、「数と計算」領域のように抽象的な数字のみの問題において、簡単な数字で工夫できることが、複雑な数字になってしまうと論理的に記述することが困難な様子がうかがえました。この点は、国語科の自分の言葉を用いて述べるという部分の弱さとも通じる能力であることから、引き続き、自分の考えを述べる・表現するような学習経験を重ねることが必要だと感じます。

また、児童質問紙(生活習慣や学習への意識調査)では、各教科(国語・算数・理科・外国語)が好きかどうかについて正直に答えているものの、学習は大切だという意識は強く持っており、学習は好きではなくても自分の将来には必要なものであるという考えを持っていることがわかりました。各教科の学習が今後の生活にどのように生かされるのかについても積極的に指導していくべきだと感じさせられました。なお、タブレット端末の利用頻度は高く、ICTの利用が有効だと感じていることも明らかとなったことから、タブレット端末の使用が効果的な場面を見極め、引き続き有効な活用に努めていきたいと感じています。学習が好きではないという結果のなかで、理科においては「好き」の割合が高く見られました。これは、専科指導教員による専門的な学習の提供が影響していると感じています。



令和5年度 えびせんべいの里賞 高島市立マキノ南小学校

電子版「教育しが」は
こちらから
ご覧になれます。



教育や子育てに関わるタイムリーなお知らせやご案内を掲載しています。
印刷物版「教育しが」にはない情報やより詳しい情報をご覧いただけます。

※印刷版「教育しが」もご覧になれます。

子ども目線での記事を中心に編集された「子ども版『教育しが』」もあります。自分の小学校の特色ある取組を県内の児童へ紹介するコーナーも設けられ、学校をよりよくする取組や地域に根差した学習活動などの取材に協力できる「子ども記者」(取材をする側・される側)の募集(4～6年生対象)もあります。



10月 学校行事予定

1日 (火)	児童安全点検(ブザー点検)	21日 (月)	秋の読書週間(25日まで)
4日 (金)	たてわり遊び		クラブ活動
11日 (金)	運動会前日準備(下校時刻変更)	23日 (水)	学校運営協議会
12日 (土)	運動会	25日 (金)	滋賀県国語研究大会(下校時刻変更)
15日 (火)	振替休業日(運動会)	28日 (月)	委員会活動
17日 (木)	4年やまのご学習	29日 (火)	6年ひびきあい活動
18日 (金)	図書館訪問貸し出し	30日 (水)	3小合同マラソン大会

先日からお知らせをしておりますが、11月23日(土)に創立150周年のイベントを行います。年度当初は、11月15日を予定していましたが、中学生をはじめとした地域住民の方に参加をいただけるよう土曜日に変更させていただきました。どうかご了承ください。